

# かれんと

男女共同参画社会の  
実現を目指して

2025.2.25

No.65

～ Current (カレント) :時代の流れあるいは新しい潮流～



## 「ときめき鹿沼フォトコンテスト」入賞作品介绍

男女共同参画について理解と関心を深めることを目的としてフォトコンテストを行いました。先入観や固定的性別役割分担等にとらわれず、お互いを尊重し支え合っている日常の風景など、総数30点のご応募をいただき、厳正なる審査の結果次の作品が入賞しました。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

渡邊雅紀委員長  
による講評

最優秀作品は、男子学生が地域で活動する姿に多くの票が集まりました。他にも、性別に関係なく子どもも大人も家庭や地域の一員として活躍していた。このコンテストを機に、男女共同参画社会についてさらに理解と関心を深めていただけることを願っています。



最優秀賞

むかしむかしあったとさ...  
みっきゃん様

今年8月の夏の縁日のひととき。中学三年生の男子が幼稚園生に紙芝居や絵本の読み聞かせをやってくれました。異年齢の子ども達のふれあいは、兄弟姉妹の少ない現代に、キラキラした時間を創作してくれました。

優秀賞

未来を  
育てる  
大門友加様



休日に家の稲刈りをしているところです。子どもたちが自主的に始めました。「長男だから」「女だから」という柵なく、協力することの大切さを楽しみながら学んで欲しいと思います。

優秀賞

我が家の  
小さな恐竜  
とパパ  
新米ママ様



産まれたばかりの我が家の小さな恐竜に新米パパがミルクをあげているところです。ちゃんと肩にガーゼを置いてゲップの用意までしているのがポイントです！

入賞

朝の目課  
ぴよ様



朝小学校へ登校する娘と付き添いのおじいちゃんがついでにゴミを出してくれます。二人でゴミを持つ姿が微笑ましくて写真を撮りました。

入賞

トントンと美味しい  
ものをつくる！  
きよみん様



放課後子ども教室ほほえみクラブで初めて、食育体験をしました！男の子も女の子も一緒にチカラを合わせ、たこ焼きの具をつくり、美味しいたこ焼きを焼きました。

入賞

孫床屋  
加藤瑠華様



おじいちゃんの髪の毛が伸びたら、私たちが切っています！おじいちゃんと交流できる貴重な時間です。



# 松井 市長に聞きました

令和6年6月、鹿沼市は16年ぶりに新市長が就任しました。  
市長就任から半年、精力的に活動されている松井市長に男女共同参画について、またご自分のワーク・ライフ・バランスについてを男女共同参画ススめ隊が聞きました。

**\*男女共同参画ススめ隊\***

令和6年4月に発足した、市民によるボランティアグループ。鹿沼市の男女共同参画を、学びながらススめている。主な活動は男女共同参画推進講座の企画運営、かれんと編集など。

忙しくても家族を大切に

## Q 市長自身のワーク・ライフ・バランスについて

**A** 一日の業務とプライベートな生活のバランスをうまくコントロールできてるかと言うとなかなか難しいですね。あっという間に一日が終わってしまうこともあります。ただ、毎朝必ず独り暮らしの父の所へ通い、写真を撮って遠方に住む弟へ様子を報告しています。家事はほぼ妻に任せていますが、自分ができること、たとえばごみ出しや家の周りのチェックなどやれることはやるって言う感じです。また夫婦間の気遣いとして、「夕食が必要かどうか」という会話はとても大切ですね。作ってもらっている立場なので妻に迷惑をかけないように気をつけています。

公務については、沢山の方とお会いする必要があるので、相手のご都合を考慮しながら円滑に進むよう、職員に工夫して頂きながら業務を行っています。やはり公務を優先せざるを得ないので、完璧とは言い難いですが、自分自身の生活とのバランスも徐々にとりつつ日々活動、仕事をさせてもらっています。

## 夫婦で仲良く楽しみながら子育てを！

### Q 男女ともに働きやすい社会とは？男性の家事や育児への参加について

**A** 育児休業法が出来て久しいですが、ようやく男性も育児休暇、休業を取る傾向になってきたことを嬉しく思います。私たちの時代は女性が休みを取って育児をするのが当たり前のようになってきました。しかしそうではなく、育児や子育てなどは夫婦が協力して行い、さらに社会全体で温かく包み込むようにやっていくというのが望ましいと思っています。私は残念ながら育児休業を取る事はできませんでしたが、夫婦共働きだったので、子どもの病院や行事への参加は協力し合い、布おむつを洗ったり、紙おむつの特売に奔走したりと、そんなことを楽しみながら子育てをしていました。

鹿沼市には「いちごっこ 出産・子育て応援事業」がありますが、これをより充実させたいですね。自分の子育て経験からも、お母さんに負担が偏り過ぎないように、夫婦が互いに仲良く協力して子育てできることが大切だと思いますし、そのために「ワーク・ライフ・バランス」の意識がもっと世の中に浸透していくと良いと思います。



**Q 鹿沼市の男女共同参画について**

**A** 本市では長年、男女共同参画を進める取り組みがされており、「男女共同参画条例」が策定されています。それに基づいてこれからの男女共同参画のあり方を考え市民の皆様へ促していければ、それが結果として働き方改革などの改善につながるのではないかと思います。残念ながらジェンダーギャップ指数の低い現在の日本において、女性がさらなる活躍をするためには、ワーク・ライフ・バランスなど、さまざまな事が男女平等になっているかを確認めながら推進していく事が必要なかと思っています。ですので、こうしてススメ隊の皆さんが活躍していることはとてもありがたいことです。私も市長として、また市としても、この分野がより充実するように願っています。

実は、栃木県では昨年11月22日の「夫婦の日」を「とも家事の日」として家事シェア\*の促進啓発をしています。夫婦で家事分担について話し合うきっかけづくりとして、私が率先して「とも家事宣言」するのはどうだろうと考えています。

そして年齢問わず、夫婦でも友達関係でも、お互いがお互いを敬うようになってくると良い時代、良い世の中になるのではないかと思います。

※パートナーや家族の家事分担だけでなく、時短食材、便利家電、家事代行サービス等の活用を含む



**\*インタビューを終えて\***

短い時間の中でしたが鹿沼市や市民の皆さんへの想い、そしてご自身のご家族への想いを熱く語っていただきました。毎日お忙しい中、熱意をもって公務やご家族の事を色々と実行されていることに感動しました。また優しいお気遣いをありがとうございました。

**イクボスの仲間が増えました！**

働く環境の積極的な見直しや改善を推進する取り組みとして、新たに「イクボスカめま宣言」を実施した事業所を紹介します！

- <令和6年度 新規登録事業所> ※令和6年8月1日～12月申請分
- NO.23 鹿沼ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長 田濤 広行 様
  - NO.24 角田建設(株) 代表取締役 角田 真一 様



←各事業所の宣言書は市ホームページをご覧ください。

**松井市長と新任管理職もイクボス宣言！**



**松井市長「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」に参加！**



輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会

**輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会とは**

日本経済の成長には女性の活躍が欠かせず、そのためにはトップが積極的に関わる事が重要として発足した会。女性の意欲を高め、能力を発揮できるよう「行動宣言」を策定しています。



市ホームページから「かれんと」バックナンバーがご覧いただけます。

トップ>福祉・健康>人権・男女共同参画>男女共同参画>男女共同参画情報紙「かれんと」バックナンバー

**第1回「パパとつくろう!本格ぎょうざ」**

8/3(土) 講師:大輪 晶子氏

パパも子どもたちも真剣かつ楽しんで水餃子づくりに励み、美味しさに笑顔が沢山こぼれていました。

後片付けもみんなで協力してやりました。



**第2回「親子でつくろう!整理に活躍ミニBOX」**

8/18(日) 講師:藤沼 清美氏

ただの段ボールがみるみるうちに収納BOXに早変わり♪各々持ちよった材料も駆使してオリジナリティあふれる収納BOXを作成しました。



**第3回「理工系チャレンジ講座バスボムを作ろう!」**

10/26(土) 講師:帝京大学 平澤先生・高山先生

初めてのバスボム作りと後半は輪になって女子トーク。先生や皆さんの色々な視点から、これからの進路についてお話をしました。自分の将来を考える良いきっかけになったのではないのでしょうか。



**第4回「始めよう!おうちで『性教育』」**

12/8(日) 講師:ことり助産院 小嶋 由美氏

前半は講師のお話、後半はグループワークを行いました。性教育というと難しく考えがちですが、普段から親子の会話を大切にすることで、身構えずに「性」について話し合えるという事を学びました。



**ススメ隊員のおススメ!!**



カフェ

**D-cat (貝島町)**



貝島町にある猫好きな店主が経営する猫カフェではないカフェ。

昼はカフェ、夜は居酒屋営業になるスタイルのお店

で料理がとっても美味しいです。(´ω`) またハンドメイド雑貨も店内で取り扱っているのでよければ一度足を運んでみてください。m(\_ \_)m (W)

絵本

**『100万回生きたねこ』**

作・絵:佐野洋子 講談社



とても有名な絵本ですが、何年か前にふと目にした時に、内容をあやふやにしか覚えていないなぁと思い改めて読んでみました。

愛することを非常に考えさせられる絵本で、それから私の一番好きな絵本になりました。子ども達にも読んでほしいですが、大人になってから読むとまた違った感想を持つことができるかもしれないので、ぜひ大人の皆さんにも読んでいただきたいです。(S)

**編集後記**

- ・最近ちょっと昔のドラマを観る事にハマっています。私の一番のおススメは「リーガルハイ」です。(S)
- ・市長インタビューの時のお茶、美味しかったなぁ。(W)
- ・松井市長ととても有意義なお話をする事が出来て、貴重な時間を過ごすことができました。(R)